



<月のテーマ：感じる>

年齢別 月の保育のねらい

<0歳児>

- 保育者に共感されたり、見守られたりすることで、好きな遊びにじっくり取り組み、満足感を得る。
- 絵本の読み聞かせや歌などに興味を持ち、楽しみながら喃語を発する。

<2歳児>

- 友だちや保育者と一緒にごっこ遊びを楽しみ、言葉のやり取りを広げていく。
- 音の違いや感触を味わいながら、リズム表現を楽しむ。

<3歳児>

- 身の回りのことを丁寧にしようとする。
- 遊びの中で言葉のやり取りを楽しむ。

<4歳児>

- 生活や遊びの中で、自分なりのイメージを表現する楽しさを味わう。
- 数人で仲間となり、遊ぶことを楽しむ。

<5歳児>

- 友だちと関わる中でいろいろな意見があることに気づく。
- 自然の変化や美しさ、不思議さに興味・関心を持つ。

<学童>

- 新しい友だちとのつながりを深め、自分たちの生活を立て直す。



<11月の歌>

こんぺいとう



<サツマイモをとったぞー>

10月27日（火）、お出かけ日和になりました。『おいもほり』『いもほり よいしょ!』の絵本を出かける前に読んだ子どもたちの芋ほりのイメージは・・・

よいしょ！よいしょ！とひっばって抜くイメージでした。

自然共生園のさつまいも畑について子どもたちは、お芋のつるで自分の掘る場所を確認して、つるをひっばって抜こうとするが、抜けない、どころかつるが切れてしまう。「とれない・・・」と苦戦している子どもたち、「つるの近くの土を手で掘ると・・・ほら紫色の・・・」「お芋発見」「お芋を見つけたら、ゆさゆさと揺らしてからお芋を持って引っ張るとぬけるよ!」「ぬけた!!大きなお芋・・・」「みて、みて!!」お芋は、引っ張るのではなく、掘るものだという事を学んだ子どもたち、コツをつかむと、次々に大きなお芋を掘りだして歓声を上げていました。

「見て、かわいいお芋、ちび芋ちゃんだよ。」「ねずみちゃんだよ」「おしりみたい」・・・

掘りだしたお芋の形を見て、いろいろとネーミングをする子どもたちでした。

今度は、「うんとこしょ、どっこいしょ」と抜ける大根掘りに行きたいと思います。



陽だまりが気持ちよい日だったので、やぎさんもひつじさんも子どもたちが来るのを待っていたかのように、子どもたちが手にしている草をパクパク食べてくれました。

子どもたちはたくさん食べてくれるやぎさんとひつじさんに大喜びでした。